

2021 年度(令和 3 年度)事業報告

2021 年度は「地域住民がより健康で、より元気で、心豊かに過ごせるよう、学校、地域、行政と連携して、地域の活性化およびスポーツ・文化活動の拡大に尽力致しました。

しかしながら、今年度も「新型コロナウイルス感染症」の拡大による「緊急事態宣言」の発出などで、感染予防策を講じながらの活動で、満足な事業活動が出来ない1年でした。以下にご報告申し上げます。

(1) 地域住民の心身の健康づくり支援事業

「健康は長寿への第一歩」をうたい文句に月 4 回

開催のいきいき健康体操教室は、4 月～6 月は体育館、7 月～9 月は音楽室、10 月～11 月は体育館、12 月～3 月は音楽室を利用している活動となっています。

健康の街若葉台での健康に対する意識の高さはあるもののコロナ禍の怖さで、閉じこもりがちなの頃です。そのような中でも、太極拳講習会は 2 つの教室で開催され若い方の参加が増えてきています。

(2) スポーツ活動事業

スポーツ大会は、「新型コロナウイルス感染症拡大防止」のため、テニス大会を除き、その他すべての大会が中止となりました。

またクラブ化して始めた春秋開催の登山やマイクロバスを利用したバスハイキングなどの活動も中止となりました。

テニススクールは、一般の部は月 4 回の開催日はテニス好きの受講者が熱心に通われています。

(3) 文化活動事業

電子顕微鏡でミクロを観る会主催の市民教養講座では、石綿進一先生の「水中生物と環境問題」、坂本広美先生の「マイクロプラスチック問題」、浜田守久先生の「火山活動を探るー伊豆大島火山を例として」の核口座を開催しました。コロナ禍の中で参加者をしぼっての開催でした。

3 月の「くらりか」理科教室は、「偏光板万華鏡を作ろう」に、小学生 5 人参加での開催でみんな楽しみながら取り組んでいました。

市民図書館 (SOLA) では、おはなし会「絵本の読み聞かせ」を開催しました。コロナ禍で、8 月 9 月は中止といたしました。図書館への来館者へは、貸し出しのみの対応とさせていただきます。

その他、正月書き初め・秋の二胡教室発表会・定期的な炭焼き工芸普及会などの活動もしっかりしました。

文化教室は英会話教室・子ども英語教室と芝居体験・キッズミュージカルはコロナ禍で休止中、油絵教室・中国語教室・書道教室・二胡教室・クラリネット教室の受講生の皆さんは熱心に受講されており、年々レベルが上がって来ています。

(4) スポーツ・文化活動に必要な施設開放事業

36年間続いている学校開放施設（校庭・体育館・格技場・特別教室等）と公園運動施設（日向根テニスコート・日向根球場・若葉台球場・大貫谷テニスコート）を利用して活動しているサークルが数多くあり、日々色々なスポーツ種目・文化種目で活動をしており、これらの施設利用の調整・管理・運営をクラブで、行っております。この長く続いているスポーツ・文化のサークル活動が、若葉台の元気を持続させ、対外的にも元気な高齢者が多い地域として、近年マスコミでの報道や、福祉関係の海外からの視察が増えている要因になっており、自他ともに自慢できる地域となっていることに、この事業の重要性を感じています。しかしながら、緊急事態宣言や、学校開放施設等、規制がかかり十分な活動が出来ませんでした。そのような中でも旧西中体育館等のドローン講習での利用が大幅に増え、令和3年度の施設開放事業の利用増にもつながってきました。

(5) 地域支援事業（運動会、文化祭）

運動会・文化祭もコロナ禍で、残念ながら中止となりました

(6) 青少年支援事業

週2回開催のジュニアテニス教室には元気な子どもたちが参加しており、年々上手になっています。特に年度末には友達を誘って、大勢参加いただくようになりました。太陽の下、元気いっぱい頑張っており取り組んでいます。

チアリーディング教室は概ね月3回開催し、延べ人数で492名が受講し、感染予防策を講じながらの活動で、元気な小学生でいっぱいです。

他の「夏休み子どもの広場」「デイキャンプ」「ミニバス教室」「少年野球教室」などは中止となりました。

(7) その他

学校、地域と連携し、地域コミュニティの形成に努めるも、オール若葉台を対象とする連合自治会、まつりの会、社会福祉協議会が主催する行事はほとんど中止になりました。

若葉台まちづくりセンター・地区センター・住宅管理組合連絡協議会・各自治会と協調する事業もコロナ禍でほとんど中止となりました。

対外的には、横浜市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会主催の交流会やK S N(神奈川県総合型クラブネットワーク)の事業もすべて中止でした。

2021年度の事業はコロナ禍で明けて、コロナ禍で終わった一年でした。満足のいく活動が出来ず、一時でも早い収束を望んでいます。

なお、神奈川県が地域住民対象に実施している「認知症低下抑制プロジェクト」は、クラブ施設（旧西中）を利用して実施されており、このプロジェクトへの協力をしております。

今後もより多くの方々にスポーツ・健康・文化活動に参加いただき、健康長寿で楽しい毎日を過ごしていただきたいと思います。そして、関連組織と連携してよりしっかりしたクラブに成長させたいと思います。

今後とも、宜しく願い申し上げます

令和3年度 事業報告書

法人の名称 NPO 法人若葉台スポーツ・文化クラブ

1 事業活動方針

NPO 法人設立12年目は、「スポーツ・文化の拠点」として更に内外に発信する大きな役割を果たしつつ、自立した運営基盤での活動で、旧西中跡地の文化芸術スポーツの活動拠点の管理委託に向けて全力を尽くすとともに、いつまでも活気にあふれる元気なまちづくりに貢献しながら各事業の充実を図ってまいりました。

期のなかばから、コロナ禍を乗り越えるためにも、法人としてのマネジメント及びガバナンスについて早急に改善の必要があるとの認識で、タスクフォース会議を理事会と併設して取り組みをしてきております。この活動は次期にもひき続いて行ってゆきます。昨年に引き続き、なおコロナ禍のために、満足のいく活動が出来なかったことが残念です。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 地域住民の心身の健康作り支援事業

- ・ 内 容 だれもが気楽に参加できる健康作り事業
- ・ 日 時 通年
- ・ 場 所 体育館等
- ・ 従事者人員 30人
- ・ 対 象 者 若葉台及び周辺住民 1,000人
- ・ 支 出 額 1,424,680円

② スポーツ活動事業

- ・ 内 容 だれもが気楽に参加できるスポーツ大会、教室等
- ・ 日 時 通年
- ・ 場 所 地域グラウンド、体育館等
- ・ 従事者人員 50人
- ・ 対 象 者 若葉台及び周辺住民 4,000人
- ・ 支 出 額 284,737円

③ 文化活動事業

- ・ 内 容 だれもが気楽に参加できる文化行事、イベント等

- ・ 日 時 通年
- ・ 場 所 体育館、特別教室等
- ・ 従事者人員 50人
- ・ 対 象 者 若葉台及び周辺住民 2,000人
- ・ 支 出 額 2,139,906円

④ スポーツ・文化活動に必要な施設開放事業

- ・ 内 容 施設内スポーツ文化施設開放
- ・ 日 時 通年
- ・ 場 所 若葉台小中学校体育施設等
- ・ 従事者人員 30人
- ・ 対 象 者 若葉台及び周辺住民 10,000人
- ・ 支 出 額 2,295,502円

⑤ 地域支援事業

- ・ 内 容 各種事業への支援
- ・ 日 時 通年
- ・ 場 所 若葉台開放施設
- ・ 従事者人員 0人（コロナ禍で全て中止）
- ・ 対 象 者 若葉台及び周辺住民 0人
- ・ 支 出 額 0円（コロナ禍ですべて中止）

⑥ 青少年支援事業

- ・ 内 容 青少年スポーツ文化活動支援
- ・ 日 時 通年
- ・ 場 所 旧若葉台西中学校ほか
- ・ 従事者人員 10人
- ・ 対 象 者 若葉台及び周辺住民 500人
- ・ 支 出 額 971,172円

所轄庁提出様式

令和3年度活動計算書（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

NPO法人若葉台スポーツ・文化クラブ

科目	金額（単位：円）		
I 経常収益 1. 受取会費 正会員受取会費 賛助会員受取会費 受取会費 計 2. 事業収益 利用会員（年会費） 開催事業参加費 施設管理運営協力費 公園施設管理受託事業 事業収入（自治会） 事業収益 計 3. 寄付金 寄付金 寄付金 計 4. 雑収入 雑収入 雑収入 計 5. その他収益 受取利息 その他収益 計 経常収益 合 計	195,000 377,000	572,000	19,571,980 461,472 588,417 0 21,193,869
II 経常費用 1. 事業費 事業人件費 通信費 備品購入費 印刷費 事務用品費 消耗品費 広報費 旅費交通費 会議費	6,889,350 422,844 134,195 56,376 124,997 851,571 73,700 0 10,000		

科目	金額 (単位：円)		
水道光熱費	265,568		
使用賃借料	224,447		
渉外費	17,500		
車両費	464,189		
修繕費	161,074		
雑費	145,355		
租税公課	85,800		
支払保険料	56,250		
士業等支払報酬	962,400		
講師等支払報酬	4,730,576		
積立金	1,100,000		
減価償却費	618,478		
事業費 計		17,394,670	
2. 管理費			
役員報酬	520,000		
管理人件費	703,350		
総会運営費	600		
渉外費	10,000		
旅費交通費	0		
通信費	22,300		
印刷費	3,000		
事務用品費	1,300		
消耗品費	2,300		
管理費 計		1,262,850	
経常費用 合計			18,657,520
当期経常増減額			2,536,349
III 経常外収益			
経常外収益 計			0
IV 経常外費用			
経常外費用 計			-496,078
税引き前当期正味財産増減額			3,032,427
当期正味財産増減額			3,032,427
前期繰越正味財産額			9,240,031
次期繰越正味財産額			12,272,458

所轄庁提出様式

貸借対照表(令和4年3月31日現在)

NPO法人若葉台スポーツ・文化クラブ

科目	金額 (単位:円)		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	111,540		
小口現金	0		
小口現金(つり銭)	125,000		
普通預金④(toto専用)	0		
普通預金⑤(利用会員費)	3,177,672		
普通預金⑥(運営協力費)	4,587,157		
郵便振替口座	4,355,165		
その他の流動資産	6,980		
仮払金	0		
流動資産合計		12,363,514	
2. 固定資産			
有形固定資産	0		
固定資産合計		0	
資産合計			12,363,514
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	32,000		
預り金	59,056		
流動負債合計		91,056	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			91,056
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産の部		9,240,031	
当期正味財産増減額		3,032,427	
正味財産合計			12,272,458
負債及び正味財産合計			12,363,514

所轄庁提出様式

財産目録（令和4年3月31日現在）

NPO法人若葉台スポーツ文化クラブ

科目	金額（単位：円）		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手許現金	236,540		
横浜銀行普通預金	7,764,829		
ゆうちょ銀行普通預金	4,362,145		
流動資産合計		12,363,514	
2. 固定資産			
有形固定資産	0		
固定資産合計		0	
資産合計			12,363,514
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	32,000		
預り金	59,056		
記念行事積立金	0		
流動負債合計		91,056	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			91,056
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産の部		9,240,031	
当期正味財産増減額		3,032,427	
正味財産合計			12,272,458
負債及び正味財産合計			12,363,514

【注記】

特別会計

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

NPO法人若葉台スポーツ・文化クラブ

項目	金額（単位：円）		
2021年度積立（周年記念事業）	200,000		
2021年度積立（マイクロバス）	400,000		
2021年度積立（テニスコート）	500,000		
預金利息	102		
収入の部 合計		1,100,102	
支出	0		
支出の部 合計		0	
当期特別会計 正味財産増減額			1,100,102
当期特別会計正味財産増減額			1,100,102
前期特別会計繰越正味財産額			4,387,624
次期特別会計繰越正味財産額			5,487,726

注：次年度繰越額は横浜銀行定期預金、2022年3月末の残高と一致する。